

株式会社 住友倉庫

2020年3月期 決算補足説明資料

2020年5月18日

目次

I. 2020年3月期決算の概要	2	補足資料	19
2020年3月期決算のハイライト	3	1. 保管用倉庫面積・保管残高	20
I - 1. 決算の概要	4	2. トランクルーム期末保管残高	21
I - 2. セグメント別営業収益	5	3. 港湾運送取扱量	22
I - 3. セグメント別営業利益	6	4. 国際輸送取扱量	23
I - 4. 財政状態	7	5. 賃貸ビル面積	24
I - 5. キャッシュ・フローの状況	8		
II. 2021年3月期見通し	9		
II - 1. 業績の通期見通し	10		
II - 2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し	11		
II - 3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し	12		
III. 長期ビジョン&第四次中期経営計画	13		
III - 1. 第三次中期経営計画(2017年度～2019年度)総括	14		
III - 2. 住友倉庫をとりまく事業環境の変化	15		
III - 3. 長期ビジョン「Moving forward to 2030」の策定	16		
III - 4. 長期ビジョンに基づく3か年の施策(2020年度～2022年度)	17		
III - 5. 計画の目標数値(2020～2022年度)	18		

将来情報に関するご注意

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありえますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

I. 2020年3月期決算の概要

2020年3月期決算のハイライト

■ 営業収益は前期比+3.0%、営業利益は+26.2%と増収増益

営業収益・営業利益・経常利益のいずれも過去最高を記録、当期純利益も実質的に過去最高を更新

① 物流事業は増収、増益

- ・営業収益は、倉庫業務が堅調に推移したほか、国際輸送業務及び陸上運送業務の取扱貨物量も増加したため、前期比 3.6%の増収
- ・営業利益は、前期比 6.0%増益

② 海運事業は減収、営業損失は大幅に圧縮

- ・営業収益は、運賃水準は改善したものの北米向けコンテナの輸送数量の減少、円高による収益目減りがあり、前期比 0.3%の減収
- ・営業利益は、運賃水準の改善に加え、コンテナ関連費用等の削減により損益は大幅改善も、3億21百万円の営業損失

③ 不動産事業は増収、増益

- ・営業収益は、当期に取得した賃貸用不動産物件等の寄与及び既存物件の賃料改定等により、前期比2.8%の増収
- ・営業利益は、増収に加え、不動産取得税等の負担減などにより、前期比 8.2%の増益

■ 資本効率の改善

ROEは5.2%と前期比+1.4ポイント上昇

■ 株主還元の強化 (株式併合考慮後)

- ① 増配：1株当たり年間配当金は、2019年5月公表の46円から1円増配、前期比では1円50銭の増配となる47円
- ② 自己株式の取得・消却：200万株（約29億円）の自己株式を取得、全量消却
本計画期間中の取得合計は、598万株（約85億円）
- ③ 総還元性向：76.6%

I - 1. 決算の概要

(単位：百万円)

連結	2019年3月期		2020年3月期		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
営業収益	186,172	100.0%	191,721	100.0%	5,548	3.0%
営業利益	8,795	4.7%	11,101	5.8%	2,305	26.2%
経常利益	11,295	6.1%	13,596	7.1%	2,300	20.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,912	3.7%	8,951	4.7%	2,038	29.5%
1株当たり当期純利益 (円) (※)	79.80	-	105.74	-	25.94	-
1株当たり年間配当金 (円) (※)	45.5	-	47.0	-	1.5	-

営業収益

物流事業及び不動産事業を中心に増収となったことから、前期比3.0%増収

営業利益

増収効果及び海運事業の損益改善により、前期比26.2%増益

経常利益

営業利益の増加等により、前期比20.4%増益

親会社株主に帰属する 当期純利益

前期に海運事業の固定資産に係る減損損失を計上していたことに加え、法人税等の負担減などにより
前年同期比29.5%増益

(※)当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、上記に記載の2019年3月期の1株当たり当期純利益及び1株当たり年間配当金は、当該連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

1 - 2. セグメント別営業収益

(単位：百万円)

区分	2019年3月期	2020年3月期	増減	
1. 物流事業	151,294	156,816	5,521	3.6%
① 倉庫収入	25,923	26,321	397	1.5%
② 港湾運送収入	38,454	37,911	△543	△1.4%
③ 国際輸送収入	40,082	41,384	1,302	3.3%
④ 陸上運送ほか収入	46,834	51,198	4,364	9.3%
2. 海運事業	25,873	25,790	△82	△0.3%
⑤ 海運事業収入	25,873	25,790	△82	△0.3%
3. 不動産事業	10,472	10,767	295	2.8%
⑥ 不動産事業収入	10,472	10,767	295	2.8%
計	187,640	193,374	5,734	3.1%
セグメント間内部営業収益	△1,467	△1,653	△185	-
純営業収益	186,172	191,721	5,548	3.0%

① 倉庫収入

生活関連貨物や文書等情報記録媒体の取扱いが堅調に推移したほか、新規施設の稼働により増収

② 港湾運送収入

コンテナ荷捌等の取扱いが前期を下回ったことから減収

③ 国際輸送収入

主として国際一貫輸送の取扱いが増加し、増収

④ 陸上運送ほか収入

eコマースに関連する輸送の取扱拡大等により増収

⑤ 海運事業収入

運賃水準は回復したものの、北米向けコンテナの輸送数量の減少に加え、円高の影響もあり減収（ドルベースでの営業収益は増収）

⑥ 不動産事業収入

当期に取得した賃貸用不動産物件の寄与及び既存物件の賃料改定等により増収

I - 3. セグメント別営業利益

(単位：百万円)

区分	2019年3月期	2020年3月期	増減	
1. 物流事業	10,328	10,945	617	6.0%
2. 海運事業	△1,671	△ 321	1,350	-
3. 不動産事業	5,058	5,475	416	8.2%
計	13,715	16,099	2,383	17.4%
調整額	△4,920	△ 4,998	△78	-
純営業利益	8,795	11,101	2,305	26.2%

1. 物流事業

倉庫業務、国際輸送業務、陸上運送業務等が好調に推移し、前年同期比6.0%増益

2. 海運事業

運賃水準の改善に加え、コンテナ回送費用等の削減により損益は大幅に改善したものの、3億21百万円の営業損失

3. 不動産事業

増収に加え、不動産取得税等の負担が減少したこと等により、前年同期比8.2%増益

I - 4. 財政状態

(単位：百万円)

区分	2019年3月期末	2020年3月期末	増減
総資産	322,683	318,458	△4,224
負債	135,208	146,482	11,274
純資産	187,475	171,976	△15,498
(自己資本)	(181,196)	(165,291)	△15,905
自己資本比率	56.2%	51.9%	△4.2ポイント
1株当たり純資産 (円)	2,119.23	1,978.39	△140.84

総資産

社債発行等による「現金及び預金」の増加及び新倉庫建設等による有形固定資産の増加等があったものの、株式相場の下落に伴い「投資有価証券」が減少したこと等により、前期末比で42億24百万円の減少

負債

投資有価証券の評価差額に係る「繰延税金負債」が減少したものの、借入金の増加及び社債発行等により、前期末比で112億74百万円の増加

純資産

親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い、「利益剰余金」が増加したものの、株式相場の下落に伴う「その他有価証券評価差額金」の減少及び自己株式の取得・消却等により、前期末比で154億98百万円の減少

1-5. キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

区分	2019年3月期	2020年3月期	増減
営業活動によるCF	13,999	14,975	975
投資活動によるCF	△255	△ 17,211	△16,956
財務活動によるCF	△20,555	12,555	33,111
現金及び現金同等物の 期末残高	24,161	34,549	10,388

営業活動によるCF

税金等調整前当期純利益の計上のほか、減価償却費による資金の留保等により、149億75百万円の増加

投資活動によるCF

有形固定資産の取得による支出等により、172億11百万円の減少

財務活動によるCF

借入金の増加及び社債発行等により、125億55百万円の増加

現金及び現金同等物の 期末残高

前期末比103億88百万円の増加。なお、B/Sの現預金勘定363億67百万円との差異は、「預入期間が3か月を超える定期預金」の残高が18億18百万円あることによる

II. 2021年3月期見通し

II - 1. 業績の通期見通し

(単位：百万円)

連結	2020年3月期 実績		2021年3月期 見通し		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
営業収益	191,721	100.0%	178,000	100.0%	△13,721	△7.2%
営業利益	11,101	5.8%	8,500	4.8%	△2,601	△23.4%
経常利益	13,596	7.1%	10,600	6.0%	△2,996	△22.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,951	4.7%	6,500	3.7%	△2,451	△27.4%
1株当たり当期純利益 (円)	105.74	-	77.80	-	△27.94	-
1株当たり年間配当金 (円)	47.00	-	48.00	-	1.00	-
配当性向	44.4%	-	61.7%	-	-	+17.3ポイント

営業収益

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動への影響が国内では第2四半期末まで、また海外においては海運事業も含め、世界の貿易量縮小を通じて通期にわたり継続することを前提として、営業収益は前期比で7.2%の減収を見込む。ただし不動産事業の収益は前期並みを見込む（なお、海外現地法人の会計年度は1月～12月である）

営業利益

新型コロナウイルス感染症拡大の影響のほか、新倉庫稼働に伴い不動産取得税等の一時費用及び減価償却費が増加することもあり、前期比23.4%の減益と見込む

経常利益・親会社株主に 帰属する当期純利益

営業利益の減少により、経常利益は前期比22.0%の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比27.4%の減益と見込む

配当

普通配当48円00銭を予定（前期の配当金は普通配当37円00銭、創業120周年記念配当10円00銭の合計47円00銭）

II - 2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し

営業収益

(単位：百万円)

区分	2020年3月期 実績	2021年3月期 見通し	増減	
1. 物流事業	156,816	145,000	△11,816	△7.5%
2. 海運事業	25,790	23,700	△2,090	△8.1%
3. 不動産事業	10,767	10,800	32	0.3%
計	193,374	179,500	△13,874	△7.2%
セグメント間内部営業収益	△1,653	△1,500	153	-
純営業収益	191,721	178,000	△13,721	△7.2%

営業利益

(単位：百万円)

区分	2020年3月期 実績	2021年3月期 見通し	増減	
1. 物流事業	10,945	9,200	△1,745	△15.9%
2. 海運事業	△321	△1,200	△878	-
3. 不動産事業	5,475	5,500	24	0.5%
計	16,099	13,500	△2,599	△16.1%
調整額	△4,998	△5,000	△1	-
純営業利益	11,101	8,500	△2,601	△23.4%

2021年3月期の営業利益は、前期比で約26億円の減益と見込むが、そのうち新型コロナウイルス感染症の影響額は、物流事業で約12億円、海運事業で約9億円と試算している

II - 3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し

設備投資額

(単位：百万円)

区分	2020年3月期 実績	2021年3月期 見通し	増減	
1. 物流事業	15,994	18,400	2,405	15.0%
2. 海運事業	251	100	△151	△60.2%
3. 不動産事業	3,479	5,000	1,520	43.7%
計	19,725	23,500	3,774	19.1%
4. 全社	423	200	△223	△52.8%
連結	20,149	23,700	3,550	17.6%

減価償却費

(単位：百万円)

区分	2020年3月期 実績	2021年3月期 見通し	増減	
1. 物流事業	5,161	5,900	738	14.3%
2. 海運事業	347	300	△47	△13.8%
3. 不動産事業	2,210	2,100	△110	△5.0%
計	7,719	8,300	580	7.5%
4. 全社	625	600	△25	△4.0%
連結	8,344	8,900	555	6.7%

III. 長期ビジョン「Moving forward to 2030」 & 第四次中期経営計画（2020～2022年度）

III - 1. 第三次中期経営計画「チャレンジ120」(2017~2019年度)総括

基準年度(2016年度)に対し、約19億円の増益
当初計画の120億円に対し、約10億円の未達



主な要因

物流：国内は、当社は概ね計画通りに進捗
遠州トラックは大幅増益
海外子会社は計画比伸び悩み

不動産：収益物件取得・一部料金改定も実施
取得時一時費用の発生額は、計画を下回る

海運：3か年を通じて営業損失が継続

調整額：人件費等が増加

物流事業

成果：国内外で新倉庫施設が竣工、
事業基盤の再構築が進捗

課題：i-Warehouse®等を活用した効率化は一部にとどまる
海外進出先の内需関連物流の取込み遅れ

不動産事業

成果：首都圏・大阪府下で収益物件を取得

課題：大阪・南堀江A地区の早期事業化

海運事業

課題：業績改善、構造改革の実施

新規事業

成果：AI-OCRを一部業務で実用化

課題：事業化を目指す

株主還元 財務規律 その他

成果：自己株式取得は計画に沿い実施
配当は7年連続の増配
グリーンボンド発行(資金調達多様化)
財務の安定性を堅持
2019年度はROE5%を達成

III - 2. 住友倉庫をとりまく事業環境の変化

社会背景

経済活動の
グローバル化

グローバル化に
よるリスクの顕在化

デジタルトランスフォーメーション
の進展

気候変動やサプライチェーン管理
などのリスク顕在化

労働人口の減少

社会変化

物流事業の社会的意義が広く認知される

SDGs/ESGの取組み強化への
要請の高まり

当社の課題

- ・ 事業モデルの再構築により、事業環境の変化に即応
- ・ 持続可能な社会の実現と自社の持続的成長に向けた取組みを推進
- ・ 様々なステークホルダーとの協業による社会課題解決への貢献
- ・ 最適資本構成の検討

III - 3. 長期ビジョン「Moving forward to 2030」の策定



III - 4. 長期ビジョンに基づく3か年の施策 / 第四次中期経営計画(2020～2022年度)

第四次中期経営計画は、長期ビジョン実現のための飛躍に向けた準備期間と位置づけ各事業の基盤の強靭化を図るとともに、必要な人材の確保と育成にも焦点を当てる

4つのミッション

重点施策

モノをつなぐ

世界をつなぐ

時代をつなぐ

人をつなぐ

物流事業(国内・海外)

- ・国内新倉庫の早期業績寄与
- ・国際物流ネットワークの更なる拡充

海運事業

- ・採算改善
- ・スピード感を持ち、構造改革に取り組む

不動産事業

- ・収益物件の取得
- ・南堀江事業化への取組み継続

デジタル技術の積極的活用

- ・業務効率化

- ・収益力向上

人的資源の強化

- ・働き甲斐のある会社づくり

新たな価値の創造

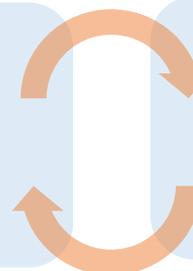
- ・他社との協業強化

つなぐの実践

- ・業務効率化、働き方改革、多様な人材が活躍できる職場づくりの推進
- ・高品質でリーズナブルなサービスの提供
- ・環境負荷低減への取組みに注力

サステナビリティの実現

安全、コンプライアンス
SDGs / ESGに関する取組み強化
「自利利他公私一如」の実践

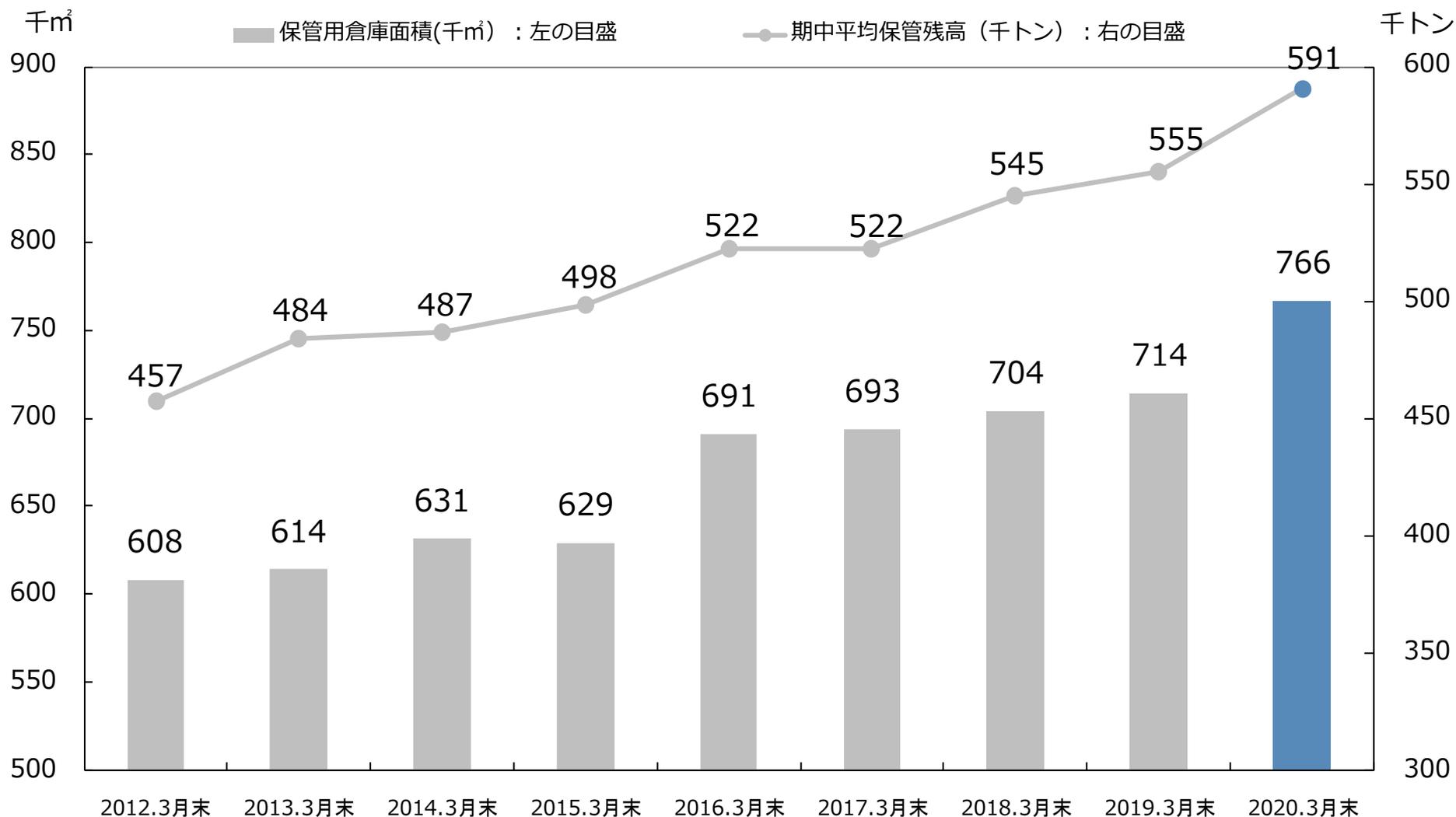


III - 5. 計画の目標数値 / 第四次中期経営計画（2020～2022年度）

		2019年度 実績		2022年度 目標値
売上高（営業収益）		1,917 億円	安定的なサービスの提供	2,100 億円
	営業利益	111 億円	収益性の向上	120 億円
	事業投資額	442億円 (2017～2019年度累計額)	必要な投資を継続	500 億円 (3か年累計額)
		第四次中期経営計画 (期間を通じて)		
ROE		5.2 %	資本効率の向上	5 %以上を目指す
株主還元	年間配当金	一株当たり 47.0 円	充実した 株主還元を継続	1株当たりミニマム 47.0 円を維持し 増配を継続
	自己株式取得	総額85億円の 自己株取得を実施		自己株式の取得を 機動的に実施

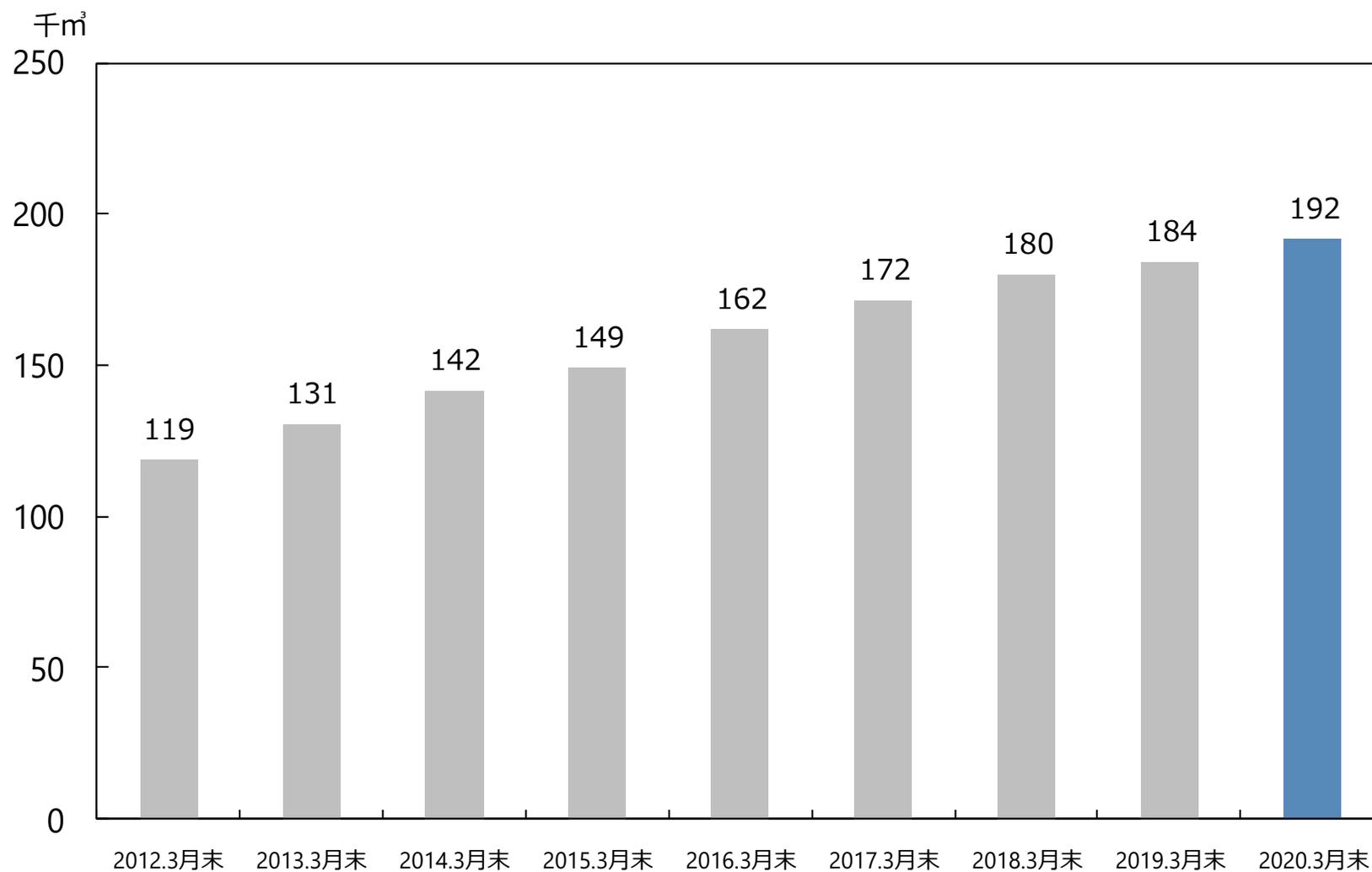
補足資料

1. 保管用倉庫面積・保管残高



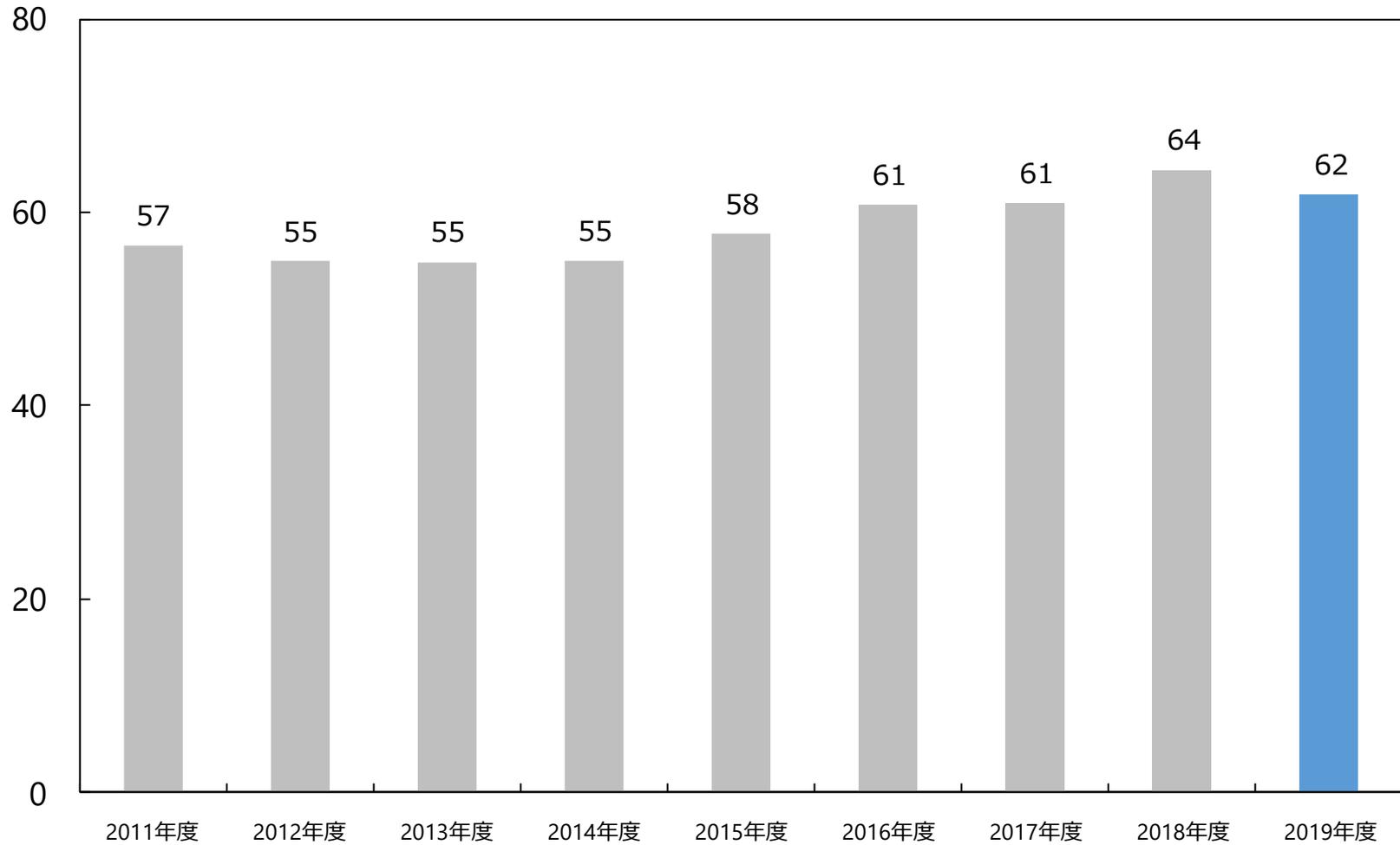
※保管用倉庫面積：所有庫+借庫-貸庫

2. トランクルーム期末保管残高

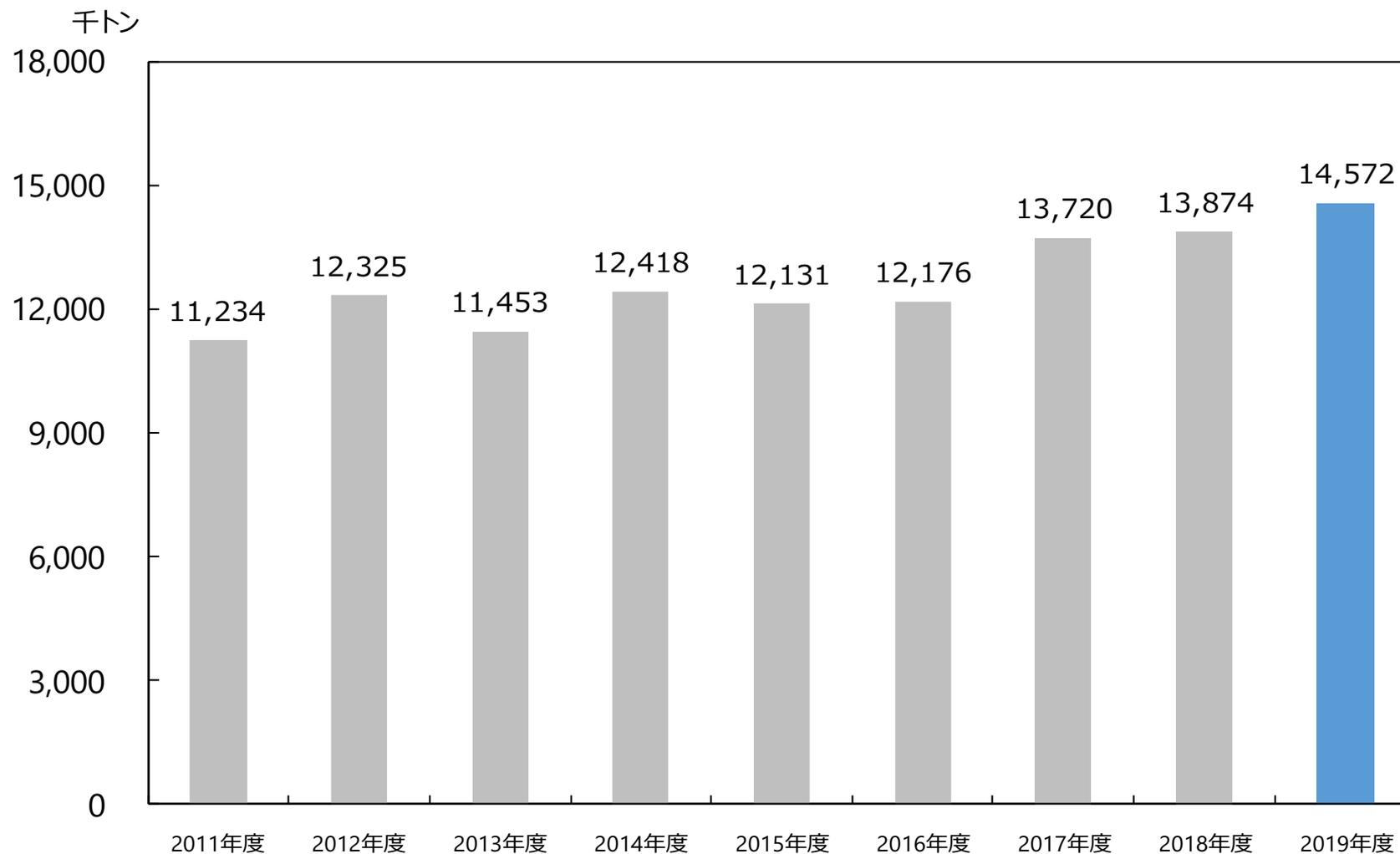


3. 港湾運送取扱量

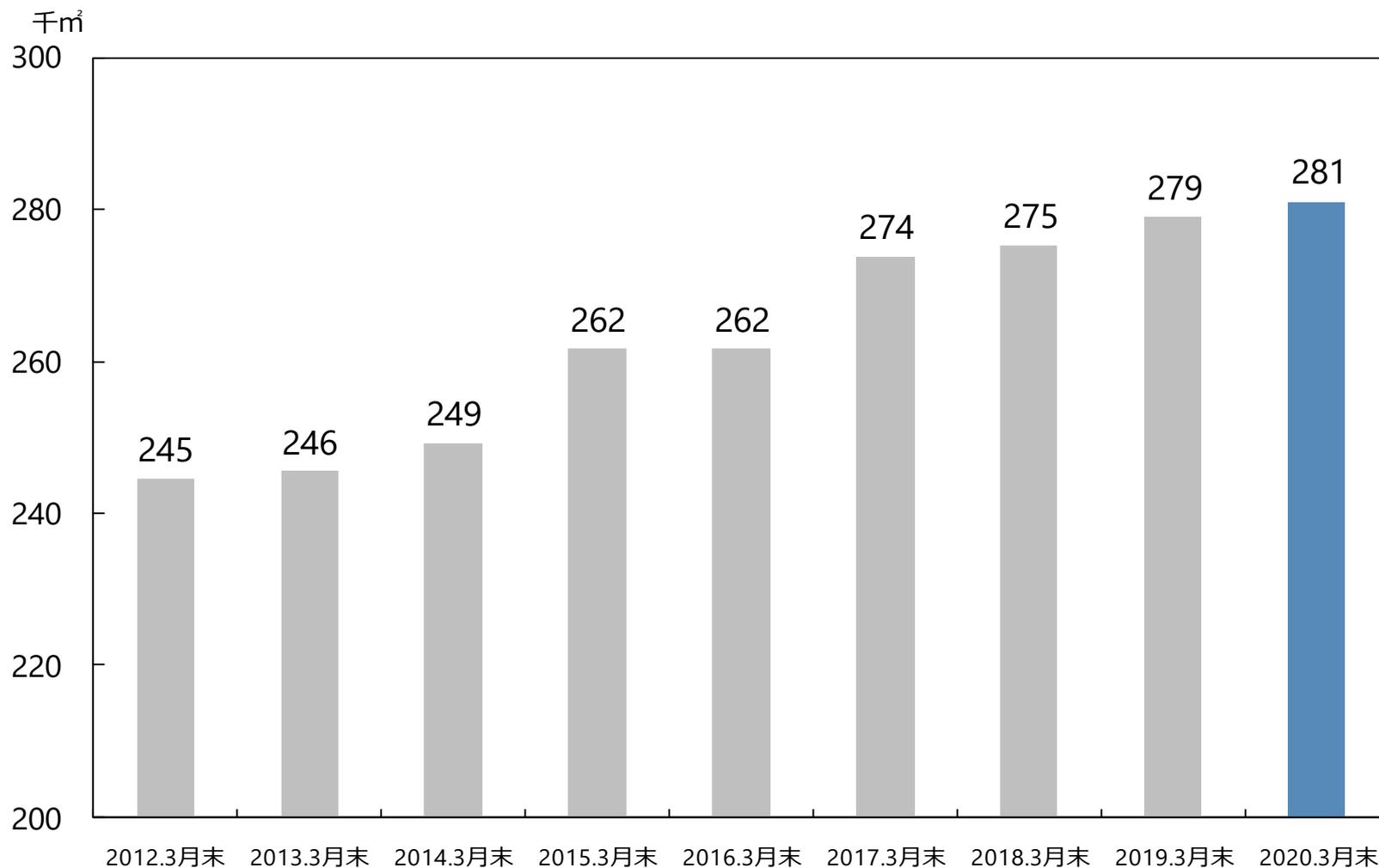
百万トン



4. 国際輸送取扱量



5. 賃貸ビル面積





株式会社 住友倉庫

< IRに関する連絡先 >

株式会社住友倉庫 事業推進部広報IR課

〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-18

TEL : 06-6444-1189 FAX : 06-6444-1282

MAIL : ir_bx@sumitomo-soko.co.jp

HP : <https://www.sumitomo-soko.co.jp/>